

サムソンのようにエホバに頼る

「主権者である主エホバ、どうか私を思い出してください。どうか.....私を強くしてください」。
[裁き人 16:28](#)

[30 番の歌](#) 私の父、私の神、私の友

何を学ぶか*[聖書](#)に出てくるサムソンという人物は広く知られています。劇や歌や映画の題材にもなっています。でも、サムソンの物語はただ興味をそそるだけではありません。立派な信仰を示したサムソンからたくさんことを学べます。

1-2. [サムソン](#)について[学ぶ](#)とよいのはどうしてですか。

[サムソン](#)と聞くと、どんなことが思い浮かびますか。ものすごく力の強い人というイメージがあるかもしれません。確かにその通りです。でも、サムソンは良くない決定をしたためにつらい経験をしました。とはいえ、エホバはサムソンの信仰に注目し、私たちの手本として聖書に記録させました。

2 サムソンはエホバから力を与えられて、イスラエル人を救うために驚くようなことを行いました。サムソンが死んでから何百年もたった後、エホバはパウロを導き、立派な信仰を示した人としてサムソンの名前を記録させました。（[ヘブ 11:32-34](#) これ以上、何を言えばいいでしょうか。さらにゲデオン、バラク、サムソン、エフタ、ダビデ、またサムエルやほかの預言者について語っていくなら、時間がなくなるでしょう。33 信仰によって彼らは、幾つもの王国を打ち破り、正しいことを推し進め、約束を与えられ、ライオンの口をふさぎ、34 火の勢いを食い止め、剣の刃を逃れ、弱かったのに強くされ、力強く戦い、攻めてきた軍隊を敗走させました）サムソンの手本は私たちにとって励みになります。サムソンは難しい状況でもエホバに頼りました。では、どんなことを学べるか考えてみましょう。

サムソンはエホバに頼った

3. サムソンはどんな使命を与えられましたか。

3 [サムソン](#)が生まれた頃、イスラエル人はフィリスティア人の厳しい支配の下でとても苦しんでいました。（[裁 13:1](#) イスラエル人は再びエホバから見て悪いことを行うようになった。エホバは彼らを40年間フィリスティア人の手に渡した）それで、エホバはサムソンに「先頭に立ってイスラエルをフィリスティア人から救[う]」という使命を与えました。（[裁 13:5](#) あなたは妊娠して男の子を産みます。その子の頭にかみそりを当ててはなりません。生まれた時から神のナジル(m*「選出された者/献じられた者/分けられた者」という意味のヘブライ語に基づく言葉。ナジルには2種類あり、自ら申し出た人たちと、神により任命された人たちがいた。男女を問わず、エホバに特別な誓約をして一定期間ナジルとして生活することができた。自らこの誓約をする人

には、主に3つの制限があった。酒を飲んだりブドウを食べたりしてはならず、髪を切ってはならず、死体に触れてはならなかった。神により任命された人は、生涯ナジルとして暮らし、エホバが定めた要求に従った。(民6:2-7。裁13:5)となるからです。彼は先頭に立ってイスラエルをフィリスティア人から救います。この難しい務めを果たすために、サムソンはエホバに頼る必要がありました。



サムソンはエホバに頼り、自分のやり方にこだわることはしなかった。その時手に入る物を使ってエホバの望むことを行なった。(4-5節を参照。)

4. エホバはどのようにサムソンを救い出しましたか。(裁き人15:14-16)

4 サムソンはどのようにエホバに頼り、エホバの支えを経験したのでしょうか。ある時、フィリスティア人がサムソンを捕まえようとして、おそらくユダにあったレヒにやって来ました。恐れを感じたユダの人たちは、サムソンを引き渡すことにし、2本の新しい縄で縛ってフィリスティア人の所に連れていきます。(裁15:9-13 後に、フィリスティア人が来て、ユダの中に宿営を張り、レヒをうろつき回った。10 ユダの人たちが、「どうして私たちに攻めに來たのですか」と言うと、こう答えた。「サムソンを捕まえ(*縛り)に來た。あの男がわれわれにした通りにしてやるのだ」。11 ユダの人たち 3000 人がエタムの大岩の洞窟(*裂け目)に行って、サムソンに言った。「フィリスティア人が私たちを支配していることを知らないのですか。それなのに、どうしてこんなことをしてくれたのですか」。サムソンは言った。「彼らにされた通りに彼らにしたのです」。12 ユダの人たちは言った。「あなたを捕まえて(*縛って)フィリスティア人に引き渡すために來ました」。サムソンは言った。「私を襲わない、と誓ってください」。13 人々は言った。「私たちはあなたを縛って引き渡すだけで、殺したりはしません」。人々はサムソンを2本の新しい縄で縛って大岩から連れていった)でも、「エホバの聖なる力がサムソンに働き」、手から縄が外れるようにしました。サムソンは「死んだばかりの雄ロバの顎骨を見つけ」、その骨で1000人を打ち倒すことができました。(裁き人15:14-16 サムソンがレヒまで来ると、彼を見たフィリスティア人は、勝ち誇ったように叫んだ。その時エホバの聖なる力がサムソンに働き、両腕にあった縄は火で焦げた亜麻糸のようになり、彼の手から縄が外れた。15 サムソンは、死んだばかりの雄ロバの顎骨を見つけ、手を伸ばしてつかみ、その顎骨で1000人を討った。16 サムソンは言った。「ロバの顎骨で、1山、2山！ロバの顎骨で、1000人を討った」を読む。)

5. サムソンはエホバを信頼していることをどのように示しましたか。

5 サムソンが雄ロバの顎骨を使ったのはどうしてでしょうか。それは普通、武器として使う物ではありませんでした。サムソンは、エホバに頼るならどんな武器を使うとしてもフィリスティア人を打ち倒せると確信していたのでしょう。その時手に入った物を使ってエホバの望むことを果たし、強い信仰を示しました。このようにエホバに頼ったからこそ、勝利を収めることができました。

6. サムソンからどんなことを学べますか。

6 エホバは私たちにも力を与えて、どんな割り当てでも果たせるようにしてくださいます。自分では無理だと思えるような割り当てであっても、思ってもみなかったような方法で助けてくださるかもしれません。エホバに頼るなら、エホバはサムソンに力を与えたのと同じように、私たちのことも助けてくださいます。（格 16:3 行うことは何でもエホバに委ねよ(d*あなたが行うことをエホバに転がせ)。そうすれば、計画は成功する)

7. どんな例から、エホバに導きを求めることの大切さが分かりますか。

7 建設プロジェクトに参加している多くの兄弟姉妹は、エホバを信頼して奉仕してきました。以前は多くの場合、王国会館や崇拜のための建物を自分たちで設計し、新築していました。でも、伝道者の数が増えるにつれて、調整が必要になりました。責任ある兄弟たちは、エホバに導きを求め、建物を購入して改装するといった新たな方法を取り入れることにしました。ここ数年、世界中で行われているたくさんの建設プロジェクトに参加しているロバート兄弟はこう言っています。「最初の頃は、この新しい方法を受け入れにくく感じている人たちもいました。これまで何年もやってきたやり方とは全く違っていたからです。でも、兄弟たちは新しい方法に進んで合わせようとしていました。エホバは確かにこの調整を祝福してくださっていると思います」。これは、エホバがご自分の望むことを行えるように私たちを導いてくださっている一つの例にすぎません。時々、次のように考えてみるのは良いことです。「私はエホバに奉仕する時、いつも導きを求め、進んで調整に応じているだろうか」。

サムソンはエホバからの助けによって力を得た

8. サムソンはとても喉が渇いた時、どうしましたか。

8 サムソンはほかにも驚くような事柄を行いました。素手でライオンを倒したこともあれば、アシュケロンという町で 30 人のフィリスティア人を打ち倒したこともありました。（裁 14:5, 6 サムソンは両親と共にティムナに下っていった。彼がティムナのブドウ園まで来ると、突然、ライオンがほえながら向かってきた。6 サムソンはエホバの聖なる力を受けて、子ヤギを 2 つに引き裂くかのようにライオンを素手で 2 つに引き裂いた。しかし、自分がした事を父や母に話さなかった、19 サムソンはエホバの聖なる力を受けて、アシュケロンに下って行ってその人たちを 30 人討ち、彼らの着ていた物を取って、謎に答えた人たちに衣装を与えた。そして憤ったまま父の家に戻った) こうしたことが行えるのはエホバが助けてくれているからだ、ということをサムソンは理解していました。それは、サムソンが 1000 人のフィリスティア人を打ち倒した後、とても喉が渇いていた時に取った行動から分かります。自分でどうにかして水を見つけようとするのではなく、エホバに助けを求めました。（裁 15:18 サムソンは非常に喉が渇き、エホバに呼び掛けてこう言った。「この大勝利を私に与えてくださったのはあなたです。それなのに今、私は喉が渇いて死に、無割礼の者たちの手に落ちるのでしょうか」）

9. エホバは、助けを求めるサムソンのためにどんなことをしましたか。（裁き人 15:19）

9 エホバは、助けを求めるサムソンのために奇跡を行い、水が湧き出るようにしました。サムソンはそれを飲むと「元気を取り戻し、回復し」ました。（裁き人 15:19 神がレヒにあるくぼ地を割って開けると、そこから水が出てきた。サムソンはそれを飲むと、元気を取り戻し、回復した。それでその場所をエン・ハコレ(m*呼ぶ者の泉)と名付けた。それは今もレヒにある。を読む。) この泉は、何年も後、サムエルが「裁き人の書」を書いた時もまだあったようです。イスラエル人はこの泉を見るたびに、エホバがご自分に頼る人を必ず支えてくださるということを思い出したでしょう。



サムソンは、エホバが与えてくださった水を飲んで元気を取り戻した。私たちもエホバが与えてくださっているものを十分に活用するなら、エホバに仕え続ける力をもらうことができる。（10 節を参照。）

10. エホバに助けてもらうためには、どんなことが大切ですか。（挿絵と写真も参照。）

10 私たちもエホバに助けを求める必要があります。どんな才能や能力を持っているとしても、またエホバへの奉仕においてどんなことを成し遂げてきたとしてもそうです。エホバに頼らなければ何もうまくいかない、ということを謙遜に認めることが大切です。サムソンが、エホバが与えてくださった水を飲んで元気を取り戻したように、私たちもエホバが与えてくださるものを十分に活用するなら、忠実にエホバに仕え続けるための力を得られます。（マタ 11:28 疲れていて(if*労苦し/悪戦苦闘し)、荷を負い切れない人は皆、私の所に来てください。そうすれば、爽やかにしてあげましょう)

11. エホバの助けを十分に活用するためにどんなことができますか。

11 ロシアのアレクセイという兄弟の例を考えてみましょう。厳しい迫害の中で強い信仰を保つのに、どんなことが助けになっているのでしょうか。兄弟と妻は、エホバとの絆を強めるための日課を大切にしています。兄弟はこう言っています。「個人研究や毎日の聖書通読を欠かさないようにして、エホバとの絆を強めるようにしています。また、妻と一緒に毎朝日々の聖句について話し合い、エホバに祈るようにしています」。何が学べますか。自分でどうにかしようとするのではなく、エホバに頼ることが大切です。個人研究や信仰を強めるための日課を守るようにしましょう。そうするなら、エホバは私たちの努力を豊かに祝福してくれます。サムソンにしたのと同じように、私たちのことも必ず元気づけてくれるのです。

サムソンは諦めなかった

12. サムソンはどんな良くない決定をしましたか。それまでの決定とはどんなところが違っていましたか。

12 サムソンも私たちと同じで不完全だったので、良くない決定をすることがありました。ある決定は本当に悲惨な結果をもたらしました。裁き人として働くようになってからしばらくして、サムソンは「ソレクの谷にいるデリラという女性を愛するように」になりました。（裁 16:4 その後、サムソンはソレクの谷(*ワジ)にいるデリラという女性を愛するようになった）以前にサムソンは、フィリスティア人の女性を妻として迎えようとしたことがありました。でも、それは「エホバから出ていること」でした。エホバは「フィリスティア人と戦う機会をうかがっていた」のです。後にサムソンはフィリスティア人の町ガザで娼婦のところに入りましたが、それもエホバの力によってこの町の門の扉を運び去り、防備に一撃を加える機会となりました。（裁 14:1-4 サムソンはティムナに下っていき、ティムナで、あるフィリスティア人女性(d*フィリスティア人の娘たちのうちの1人の女性)を見た。2そして上って行って、自分の両親にこう話した。「ティムナで、あるフィリスティア人の女性が目に留まりました。彼女を私の妻として迎えてください」。3両親は言った。「親族や私たちの民の中から女性が見つけれないのか。無割礼(*)のフィリスティア人の中から妻を迎えなければならないのか」。サムソンは父に言った。「彼女を迎えてください。私にふさわしい女性なのです」。4両親は、このことがエホバから出ていることが分からなかった。彼(if*神)はフィリスティア人と戦う機会をうかがっていたのである。その頃フィリスティア人はイスラエルを支配していた。16:1-3ある時サムソンはガザに行き、そこで娼婦を見て彼女の所に入った。2ガザの人たちに、「サムソンが来た」という知らせがあった。それで人々は周りを取り囲み、町の門の中で夜通し待ち伏せした。「夜が明けたら彼を殺そう」と言って、一晩中静かにしていた。3サムソンは真夜中まで横になっていたが、真夜中に起き上がり、町の門の扉と両脇の柱をつかんで、かんぬきを付けたまま引き抜き、両肩に担いで、ヘブロンに面する山の頂上に運んだ）でも、デリラの件に関しては、サムソンは自分の考えで行動していました。おそらくデリラはイスラエル人だったからです。それで、デリラと結婚してもフィリスティア人と戦うチャンスが生まれることにはなりませんでした。

13. デリラはサムソンにどんなことをしましたか。

13 デリラはサムソンをだます見返りとして、フィリスティア人からたくさんのお金を受け取りました。サムソンはデリラに夢中になっていたのです。デリラのことを信用し切ってしまい、まさか自分がだまされているとは考えなかったのかもかもしれません。デリラに何度もせがまれたため、サムソンは自分がどうして並外れた力を持っているのかをデリラに明かしてしまいます。残念なことに、しばらくの間サムソンはエホバからの支えを失い、弱くなってしまいました。（裁 16:16-20 デリラが毎日小言を言って、しきりにせがんだため、サムソンは参ってしまった。17とうとうサムソンは全てを打ち明けた。「私の頭にはかみそりが当てられたことがない。私は生まれた時から神のナジルなのだ。もし髪の毛をそり落とされたら、私は力を失って弱くなり、みんなのようになる」。18デリラは、サムソンが全てを打ち明けたのを見て取り、すぐにフィリスティアの領主たちを呼び、こう言った。「今度こそ来てください。あの人は全てを打ち明けました」。フィリスティアの領主たちはお金を持って彼女の所に来た。19デリラは膝の上でサムソンを眠らせた。そして人を呼んで、7つに編んだ彼の髪をそり落とさせた。その後、サムソンを制することができるようになった。サムソンは力を失っていったのである。20デリラは叫んだ。「サムソン、フィリスティア人が来たわ！」サムソンは眠りから覚めて、「これまでのように出て行って振りほどこう」と言った。エホバが自分から離れたことを知らなかった）

14. サムソンはデリラを信じたために、どんなつらい経験をしましたか。

14 サムソンは、エホバではなくデリラを信じただためにつらい経験をしました。フィリスティア人に捕らえられ、盲目にされました。さらに、以前自分が門を引き抜いた町ガザの牢屋で粉をひく仕事をさせられました。そして、フィリスティア人が祭りを祝うために集まった時、そこに連れていかれました。フィリスティア人は偽の神ダゴンに、サムソンを捕らえてくれたことに感謝して盛大な犠牲を捧げます。さらに、サムソンを「笑いもの」にしようとします。（裁 16:21-25）フィリスティア人は彼を捕まえて両目をえぐり取り、ガザに連れて行って銅の足かせ2つをはめた。サムソンは牢屋で粉をひく者となった。22 彼の髪の毛は、そり落とされた後また伸び始めた。23 フィリスティアの領主たちは、自分たちの神ダゴンに盛大に犠牲を捧げて祝うために集まった。こう言っていた。「われわれの神が敵のサムソンを引き渡してくれた！」24 民は自分たちの神の像を見ると、賛美してこう言った。「われわれの神が敵を引き渡してくれた。われわれの土地を荒らして大勢を殺した者を」。25 人々はいいい気分だったので、「サムソンを呼んで、笑いものにしよう」と言って、見せ物にするためにサムソンを牢屋から呼び出した。そして、柱の間に立たせた）



エホバはサムソンに力を与え、フィリスティア人を打ち倒せるようにした。（15節を参照。）

15. サムソンが再びエホバに頼るようになったことはどんなことから分かりますか。（裁き人 16:28-30）（表紙の絵を参照。）

15 サムソンは大きな失敗をしましたでしたが、諦めませんでした。フィリスティア人と戦うというエホバから任された使命を果たすチャンスを探していました。（裁き人 16:28-30）サムソンはエホバに向かって叫んだ。「主権者である主エホバ、どうか私を思い出してください。どうかもう一度だけ私を強くしてください、神よ。フィリスティア人に復讐させてください。私の2つの目のうち1つ分だけでも」。29 サムソンは、その家を支える真ん中の2本の柱の間にしっかりと立ち、その一方に右手を、もう一方に左手を押し付けた。30 サムソンは、「フィリスティア人と共に死なせてください」と叫んだ。そして力いっぱい押すと、家は領主とそこにいた全ての人の上に崩れ落ちた。サムソンが死ぬ時に殺した人は、生きている間に殺した人より多かった（読む。）それで、エホバに「フィリスティア人に復讐させてください」と祈りました。エホバはサムソンのこの祈りに答え、特別な力を再び与えました。この時、サムソンはそれまでに倒したよりも多くのフィリスティア人を倒すことができました。

16. サムソンの失敗からどんなことを学べますか。

16 サムソンは自分の失敗によってつらい経験をしましたでしたが、諦めずにエホバのために働くことができました。私たちも、何かの間違いをして矯正されたり奉仕の機会を失ったりするかもしれません。でも、諦めないようにしましょう。エホバが私たちのことを諦めていないということを忘れない

いでください。(詩 103:8-10 エホバは憐れみ深く、思いやり(*慈しみ)がある。すぐに怒らず、揺るぎない愛(*愛ある親切)に満ちている。9 いつも非難するのでも、ずっと憤ったままでいるのでもない。10 私たちの罪に応じて私たちを扱うことはしなかった。過ちの当然の報いを私たちにもたらさなかった) たとえ私たちが失敗したとしても、エホバのために働く力を必ず与えてくださいます。



サムソンは間違いを犯してしまったことでとてもがっかりしたかもしれないが、諦めなかった。私たちも諦めてはいけない。(17-18 節を参照。)

17-18. マイケル兄弟の経験からどんな励みが得られますか。(写真も参照。)

17 マイケルという若い兄弟の例を考えましょう。兄弟は、援助奉仕者や正規開拓者としてエホバのために忙しく働いていました。でもある時、間違いを犯し、会衆での奉仕の機会を失ってしまいました。兄弟は言います。「それまでは、いろんな奉仕でスケジュールがいっぱいでした。でも突然、エホバのためにできることがなくなってしまったように感じました。エホバに見捨てられるとまでは考えませんでした。が、昔のようにエホバとの強い絆を持てるだろうか、会衆で以前のような奉仕ができるだろうか、と考えました」。

18 それでもマイケル兄弟は諦めませんでした。こう言っています。「エホバとの強い絆を取り戻すことに打ち込みました。いつでもエホバに祈って気持ちを打ち明け、聖書を学び、じっくり考えるようにしました」。やがて兄弟は会衆での奉仕の機会を再び与えられ、今では長老また正規開拓者として奉仕しています。さらにこう言っています。「兄弟姉妹が支えになってくれました。特に長老たちの励ましのおかげで、エホバが変わらずに愛してくれていることに気付きました。今ではまた、晴れやかな気持ちで会衆のために奉仕することができています。この経験を通して、心から悔い改めるならエホバが必ず許してくださる、ということを学びました」。私たちも間違いを犯すことがあるかもしれませんが、エホバのために働き続けることができます。エホバに頼り、生き方を正すためにできる限りのことをするなら、エホバは支えてくださるのです(詩 86:5 エホバ、あなたは善い方で、快く許してください。あなたに呼び掛ける人全てに、揺るぎない愛を豊かに示してください。格 28:13 自分の違反を隠す人は成功しないが、それを告白して捨てる人は憐れみを示される

19. サムソンの例から学んだどんなところが印象に残りましたか。

19 この記事では、サムソンについてのエピソードを幾つか考えました。サムソンは完全な人ではありませんでしたが、間違いを犯した後も諦めずにエホバに仕えようとしました。エホバもサム

ソンのことを諦めませんでした。もう一度サムソンに特別な力を与えました。エホバはサムソンの信仰を高く評価していたので、ヘブライ 11 章の中で立派な信仰を示した人の一人として名前を挙げています。このような愛情深い天のお父さんに仕えられるのは、本当にうれしいことではないでしょうか。エホバは私たちが助けを必要とする時には特に、力を与えたいと思っています。それで、サムソンのようにエホバにこう祈りましょう。「どうか私を思い出してください。どうか.....私を強くしてください」。(裁 16:28 サムソンはエホバに向かって叫んだ。「主権者である主エホバ、どうか私を思い出してください。どうかもう一度だけ私を強くしてください、神よ。フィリスティア人に復讐させてください。私の 2 つの目のうち 1 つ分だけでも」)

どのように答えますか

1. どうすればサムソンのようにエホバに頼れますか。

- ・ S05 武器に拘らず、エホバに頼り、その時手に入った物を使ってエホバの望むことを果たした
- ・ S06-07 私たちもエホバに奉仕する時、難しいと考えず、いつも導きを求め、進んで調整に応じるようにする

2. エホバはサムソンがフィリスティア人を打ち倒せるように、どのように助けましたか。

- ・ S08 サムソンはほかにも驚くような事柄、素手でライオンを倒したり、アシュケロンという町で 30 人のフィリスティア人を打ち倒したことも、エホバが助けてくれていたのででき、サムソンはそのことも理解していた。
- ・ S08-09 サムソンが 1000 人のフィリスティア人を打ち倒した後とても喉が渇いてエホバに助けを求めた時に、エホバは、助けを求めるサムソンのために奇跡を行い、水が湧き出るようにした。サムソンはそれを飲むと、元気を取り戻した。
- ・ S10-11 私たちも自分でどうにかしようとするのではなく、エホバが与えてくださっているものを十分に活用するなら、エホバに仕え続ける力をいただける

3. サムソンが間違いを犯した後に取った行動から、どんなことを学べますか。

- ・ S14-15 サムソンは、エホバではなくデリラを信じたためにつらい経験をしましたが、諦めずに、フィリスティア人と戦うというエホバから任された使命を果たすチャンスを探していた。
- ・ S16 たとえ私たちが失敗したとしても、エホバは私たちのことを諦めておらず、エホバのために働く力を必ず与えてくださる。
- ・ S18 何かの間違いをして矯正されたり奉仕の機会を失っても、心から悔い改めるならエホバが必ず許して下さり、生き方を正すためにできる限りのことをするなら、エホバは支えてくださり、もう一度特別な力を与えてくださる。

3 番の歌 私たちの力、希望、確信

△ 聖書に出てくるサムソンという人物は広く知られています。劇や歌や映画の題材にもなっています。でも、サムソンの物語はただ興味をそそるだけではありません。立派な信仰を示したサムソンからたくさんのことを学べます。